

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成23年8月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3  
社団法人 日本病院会 通信教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <http://www.jha-e.com/>  
受付時間 9:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発 行 日 毎月1日  
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)  
郵便振替 00190-5-396045  
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

## 期待される診療情報管理士

國井 重男

東北大学 医学部 社会医学講座 医学情報学分野 准教授  
東北大学病院 メディカル IT センター 副部長  
山形会場 専門課程(医療情報学) 講師

東北大学病院の診療録管理の歴史を視ると、診療録が診療科別に保管管理され外来カルテは医事課、入院カルテは各病棟や医局の中で保管管理され診療情報は診療科に帰属していると言う文化が長く続いていた。平成12年4月の診療報酬改定で、診療録管理体制加算が新たに設けられ、「診療情報管理士の資格を有している必要はないが、1名以上の専任の診療記録管理者が配置」の要件が加わり、診療録管理体制に対する評価がなされた。当院はこの時期に診療録が中央管理体制に移行し、診療録の物理的な管理や内容(必要な様式収録の有無)点検を行う体制であり、この時代まで診療情報管理士は不在であった。

平成16年国立大学も法人化され経営改革の強化が求められる中、入院包括医療評価(DPC)への参加による機能評価係数I「診療録管理体制加算」、「臨床研修病院入院診療加算」が係数化され、また、「がん対策基本法」(平成18年)が成立し、平成19年4月に施行され、院内がん登録が義務付けられた。この背景を受け、柱になる診療情報管理士・がん登録経験のある診療情報管理士の採用により、質的管理へのシフトを図った。特に院内がん登録は国際疾病分類ICD-10以外に腫瘍学ICD-O-3、UICCのTNM悪性腫瘍の分類(病期分類)登録実務のスキルや診療各科の医師とのコミュニケーション力の向上が求められるなど診療情報管理士のスキルと業務の質は大きく拡大した。また、20年度から「医師事務作業補助体制加算」が新設(特定機能病院は対象外)され、当院も医師事務作業を軽減するため順次採用拡大し、今年は20名の体制となった。この間、診療情報管理士は、医師事務作業補助者の研修に努め、臨床現場で医師の事務作業を代行し得るスタッフの育成に努めている。

組織も医事課の診療情報管理係から今年は事務部長直轄の医療情報室として診療録管理、院内がん登録、医師事務作業補助者を統括する。23年からNCD(National Clinical Database)臨床現場の治療成績向上に向けた取り組みとして手術症例の登録が始まった。今は各科での対応となっているが、これもまた診療情報管理士の業務範囲と考える。忙しい医師を支援して診療情報の質を確保する業務はますます拡大している。「物の管理」から「情報の質管理」、必要な情報を抽出・加工・分析する「情報の活用」へ診療情報管理士の役割はますます広がり臨床・経営面から大きく期待されている。